

―特集―

特定行為研修 修了者がいる 在宅現場が見たい

「行為の実施」にとどまらない
看護の意義に迫る

医師が常にそばにいるわけではない在宅医療の現場においても、療養者にタイムリーな医療サービスを提供することで安心・安全な療養生活を支えることができると期待された「特定行為に係る看護師の研修制度」。

制度開始から5年。

在宅現場で活動する研修修了者の数が
まだまだ少ないのが現状です。

研修修了者は今、どのように
在宅の現場で活躍しているのでしょうか。
本特集では、現場からのレポートに加え、
この制度の意義をあらためてふり返り、
2019年の法改正で受講しやすくなった
研修の背景を解説します。